

ひとから真に求められる『心のケア』を考えます

ベトレヘムの風

発行：ベトレヘムの園病院 隔月15日発行 編集：広報委員会
住所：東京都清瀬市梅園三丁目14番72号 ☎042-491-2525 URL: <http://www.betohp.com>



No.92

『君子の交わりは淡きこと水の如し』 荘子

院長 青木 信彦



謹んで新年のご挨拶を申し上げます



平成31年

新春



仕事ができなくなったら犬を飼おうと決意したのですが、仕事ができなくなる予定がイマイチはっきりしない。家族の協力も得ることも叶わず、犬の飼い主になるという長年の夢を達成するのは、今のところ不可能と判明しました。それならば、という理由で、海洋生物学に詳しい次女の勧めにより、姫ウズラを育ててみることにしました。ウズラという名前ですが、最も小型のキジの一種です。

昨年、元旦に2匹の姫ウズラが生まれたのです。リースのふ卵器を購入して6個の卵を温めました。17日後、まさに予定通りの元日午前5時半に2匹が出てきました（感動!）。この1年は姫ウズラの御世話に全精力を傾注しました。明けても暮れても姫ウズラの毎日です。その成果は如実に表れ、今ではわたしが口笛で「ピピー」とか言うと「ヒューヒュー」とか答えるのです。大好物のミールワーム（ミミズみたいなもの）を差し出すと、2匹で取り合いの大乱闘です。先に取った方がエサをくわえながら逃げまくるのを、もう一匹が追いかけてエサを奪おうとするのです。なぜこんなにミールワームが好きなのか不思議なのですが、なんともほほえましいものです。こんなことを繰り返していると、いつの間にか、姫ウズラと馴れ合いの関係になっていました。姫ウズラの甘い仕草に、さらには首を精いっぱい伸してのび〜に、ついついミールワームを食べさせ

ぎてしまいます。その結果、ぐったりして動けなくなったりします。これは決して良いことではありません。互いに甘えが出てきてしまったのです。

まさに、「小人の交わりは甘きことミツの如し」です。つまり、私たち凡人の付き合いはベタベタとしていて、いつのまにか互いに甘えが出てきて、挙げ句の果てに仲違いをするというのです。

一方、「君子の交わりは淡きこと水の如し」です。立派な人は一定の距離を置いてお付き合いするので、人間関係は長続きするという意味です。姫ウズラばかりではありません。

⇒ 親しき中にも礼儀あり・口は災いの元・沈黙は金
君は君、我は我なり、されど仲良き --- などなど沢山の教えがあります。

それにしても、「君子の交わりは淡きこと水の如し」、新春にふさわしい、なんと美しい言葉ではありませんか!

犬もかわいいと思いますが、
姫ウズラが上です



ベトレヘムの園病院の

主の降誕

<夜半のミサ>から

～患者さまと共に捧げるミサ～

パストラルケア室：シスター北村

12月18日(火)14:30、ベトレヘムの園病院「主の降誕<夜半のミサ>」の始まりです。福音書に「・・・ユダヤのベツレヘムというダビデの町」(ルカ2章)と紹介される縁の箇所が天本神父様によって朗読されると「主の降誕」がいよいよ実感されるのです。今年の神父様のお話は入祭に歌われた「しずけき」の曲が生まれた次第から始まりました。それは丁度、200年前の1818年、オーストリアの雪深い村のある教会の出来事。「主の降誕」が祝われる当日、故障したオルガンは使えず、急遽、ギター伴奏で「主の降誕」を祝う歌が司祭と音楽教師によって作られたそうです。そんな慌しい切羽つまった状

況の中で作られたとは思えない「主イエスが、お生まれくださった」素朴な喜び、温かさ、幸いな貧しさが深い所から呼び覚まされるような曲になっているのが不思議です。だからでしょうか、歌い継がれた「しずけき」は、ある年、“サイモンとガーファンクル”という、ある世代には懐かしいグループによって、その年のニュース放送をバックに

流して歌われたそうです。「救い主イエスは歴史の中に、私たちの現実の中にしずかに生まれた」ことを表現するに相応しい発想に現代化を感じ、確かに主イエスは今、私たちの中で私たちと共に歩んでくださっていることに信頼を置きたいと思いました。





今年の抱負



放射線科：山本 秀昭

十字切り
亥年ベトレヘム
白衣を正す



総務課 保育士：青木 直里

笑顔あふれる保育園になる
様、がんばります♪



2階看護科：百々 明子

いのちを慈しみ、尊厳を大切に
する看護をおこないます。



外来：小野塚 宏美

今年は亥の年ですが、猪突猛
進せず、マイペースで働きたい
と思います。又、自分がやって
もらいたいと願
う事を他の人
にやってあげ
られるよう努
力します。



栄養科：横江 瞳

時間を大切にする！3年分た
まった写真を整理する。



2階看護科：葛岡 さと子

笑顔で患者様に安心感を提
供できる様に看護を行ってい
ます。



作業療法士：横山 涼子

子どもをしからないようにす
る、できるだけ。

理学療法士：高田 洋子

健康に気をつけ、無理せずに
頑張る!!



パストラルケア室：平野 のぞみ

心のケアを深める勉強会を
スタッフと始めたいです。



総務課：万崎 さつき

子育てと仕事とバレーボールを充実させたいです。

2階看護科：長岡 亜希子

腰痛にならないようストレッチ等を続ける!!

1階看護科：高山 邦子

色々な方との出会い別れがありました。皆様に幸せを届けられる様に、努力したいと思います。



清瀬地区合同新年会

事務部長：菊池 誠

「ベタニアの家」をルーツとする、ベタニア修道女会、社会福祉法人慈生会（ナザレットの家・ベトレヘム学園・聖家族ホーム・聖ヨゼフ老人ホーム・ベトレヘムの園病院）そして学校法人東星学園（幼稚園・小学校・中学校・高等学校）の清瀬地区での新年会が今年も盛大に開かれました。今年の会場は、建て替わったナザレットの家・ベトレヘム学園の地域交流ホールでした。この日は100名を超える来場者となりましたが、天井が高く開放感のある空間であったため、大勢の人が集まりながらも、終始ゆったりとした雰囲気であったのが印象的でした。普段は、それぞれの事業分野で忙しく、なかなか顔を合わせる機会がありませんでしたが、今日は特別です。久し



ぶりの再会と美味しい料理に、話も箸も進みます。寒さ厳しい時期でもあり、開催時間を夕方から昼間に移したことが出席者に好評でした。新しい年に向けての活力が得られた貴重なひと時でした。最後になりましたが、本年も読者の皆様にとって良い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



ひふの話

その
44

市川 雅子(皮膚科医師)

洗浄剤はよく泡立てて使いましょう

今回は、洗浄剤、つまりボディソープや石鹸、シャンプーなどの使い方です。「そりゃ当然泡立てて使っているでしょ?」と思うのですが、患者さんに聞くと、意外にも泡立てて使っていない人が結構います。先日の学会でも、ボディソープを泡立てずに使う若者が3割ほどいるという調査結果が報告されました。ではどうやって使っているのかというと、液体を手に取りそのまま腕や体などになすりつけるのです。ボディソープは泡立てることを前提に作られていますので、そのような使い方をすると、濃い液体のまま皮膚につくので刺激性がでたり、汚れ落ちも悪く、洗浄成分もなかなか洗い流せません。そして、そういう使い方を続けているうちに皮膚がかゆくなったりブツブツガサガサしてきたり、という症状が出てきます。固形石鹸も、

手だけで洗う人の中には、やはり十分泡立てずに皮膚になすりつけている人がいます(以前、濡らした固形石鹸そのものを皮膚に「塗って」いた人もいました)。洗髪もシャンプー剤をよく泡立てずに使っている人がいました(そして、頭皮のすすぎ方の不十分な人も意外と多いのです)。洗顔料はテレビCMのおかげか、泡立てないで使う人は少ないようです。最近は洗浄剤が多様化し、使い方も様々です。また親から子供への入浴時の洗い方の伝授が十分できていないケースも散見されます。皮膚のトラブルがあった時には、洗い方にも今一度注意してみてください。(追記: 他院のことですが、朝洗顔しない子供が顔のニキビのため受診することが続きました。そのうちの

一人は夜もまともに洗顔していなかったようです。先日は毎朝ウェットティッシュで顔を拭いていた子供が顔の皮膚炎が治らないと受診しました。たかが顔の皮膚トラブルひとつでも、その背景にはまさか、と思うような生活習慣が隠れていることがあります。)



お知らせ

「NPO円ブリオ基金」に、2,292円を献金しました。

病院窓口に設置してあるこの基金箱は、ひと口1円でお腹の赤ちゃんを救おう! という呼びかけに、毎年クリスマスの時期に円ブリオ基金センターにまとめて送っています。ご協力に感謝し、ご報告といたします。



人はなぜ転んでしまうのか? 転ぶとどんなことが起こるのか!? そんな講義と転倒リスク検査、自宅で取組めるエクササイズの紹介。

1月の健康公開講座

簡単なホームエクササイズで転倒予防!

平成31年1月23日(水) 14:00~ 当院会議室

講師: 理学療法士 井上 翼

参加費: 無料

用意: 動きやすい服装と靴

ベトレハムの園病院 医療相談室 電話:042-491-2525

URL:<https://www.betohp.net>



ベトカフェで使える
コーヒー&お菓子無料券
プレゼント!!

編集後記

明けましておめでとうございます。

今年亥年です。十二支の中でも最後の年です。戌年でたわわに実った果実が種子となり、エネルギーを蓄えて次の世代へと向かう準備をするという意味の年で、猪の猪突猛進な性質から、勇気と冒険の象徴ともされているそうです。

2日に初詣に行きおみくじを引いたら大吉でした。喜んだ

のもつかの間、よくよく読むと欲を捨てて人に尽くす事と書いてあり、帰り道、横断歩道の信号が点滅していたので慌てて渡ろうとしたら、主人に「欲かくとひかれるぞ」と言われ横断するのをやめました(笑)。

今年猪突猛進ではなく慎重に地道に進んで行こうと心に決めました!! (H・K)